

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0190502781		
法人名	株式会社 創生事業団		
事業所名	グッドケア・平和通 めろん館		
所在地	札幌市白石区平和通16丁目北9番1号		
自己評価作成日	令和 4 年 3 月 3 日	評価結果市町村受理日	令和 4 年 7 月 4 日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&Jigyvos_oCd=0190502781-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ニッポン・アクティブライフ・クラブ
所在地	札幌市北区麻生町3丁目5の5 芝生のアパートSK103
訪問調査日	令和4年3月23日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

昨年度に新しいホーム理念をスタッフ一同で掲げました。
『その人の今を大切に』を掲げ、入居者様と共に学び、共に歩み、共に笑い、自分らしさを忘れず安心できる生活を送れるよう支援しております。
コロナ禍により面会自粛や外出自粛と行動範囲に限りがある中で皆様が退屈しない様、一緒に季節の装飾や貼絵などを作成したり、室内で行えて楽しめる運動会、ビンゴ大会などのレクリエーションに力を入れ企画し頭の運動、体の運動と体力維持にも努めております。
『看取りケア』の対応もしております。医療機関との連携を図り情報共有を行い報連相の徹底をしております。職員は、終末期を迎えるにあたり都度、研修を行い、その人の最期まで『その人の今を大切に』し安心して暮らして頂けるホームとなっております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	<input type="radio"/> 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	<input type="radio"/> 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input type="radio"/> 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員一同で掲げた理念の中に『その人の今を大切に』と掲げております。事務所の目の届く個所に掲げ出勤時に必ず目を通しております。皆様がこれまでに過ごされてきた環境や想いなどは違いますが、今を大切にすることを心掛けております。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	コロナウイルスの影響により地域との交流ができておりませんが、町内会に加入し町内会行事などにも可能な限り参加しております。町内会のお祭り時期には子供神輿の経路に加えて頂き交流を図っております。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	コロナウイルスにより現在は、行えておりませんが、運営推進会議や町内の行事に積極的に参加しております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナウイルス感染予防対策で運営推進会議は、書面での開催とし二ヶ月に一度、ホームでの取り組みや状況報告を行っております。頂いた意見などは、施設内で共有し支援に活かしております。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	札幌市や白石区の連絡会や研修に参加し、情報共有を行っております。日常的に不明な点等は、担当者と連絡を取っております。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	三か月に一度、身体拘束適正化委員会を開催し日々のケアの中で身体拘束が起きないように対応しております。職員一人一人が自覚を持ち注意、相談できる環境で身体拘束防止に取り組んでおります。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	年四回の身体拘束・虐待防止研修の他に委員を選出しマナーから起こりうる言葉使いや接遇などの乱れを職員間で注意できる取り組みを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	地域において自立した生活が送れるよう、入居される方との契約に基づいて福祉サービスの利用援助を行える様に研修会等で学び支援に結びつけております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居の際には、ご家族様がきちんと理解納得されるよう契約書などの書面をもとに細かく丁寧な説明を行い質問には不安なく納得されるまで説明を行っております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日常の会話や表情から状況を把握し想いを汲み取れる様、支援しております。コロナ禍で面会の制限等も設けられている中ですが来訪時には、気兼ねなく話せる環境作りを心掛けております。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	話しやすい職場作りを心掛けており、職員一人一人と向き合い想いを聞く時間を作っております。出された意見や提案は、出来るだけ反映させる様に努めております。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	人員不足にならぬように常にシフト管理や職員の体調管理にも気を配り配慮しております。他ユニットの協力を得ながら休憩や休みの確保など負担軽減に努めております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月一回の研修会を設け職員の介護に対する知識向上に努めております。(現在はコロナ禍の為、個人でプリントを読み学び研修報告書を作成提出しております。)		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者は各施設の管理者との管理者会議に出席し円滑に相互理解を深め部門間での連携も取りやすく社員同士の信頼関係も高めております。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に面談やアセスメントを行ない、担当者やご家族様の協力も頂きながら情報を共有し安心出来る環境と関係が築ける様に努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様が不安に思う気持ちを汲み取りながら来訪時や電話で近況をお伝えするなどして関係を築いております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人様、ご家族様を交えながら必要としている支援を聞き入れると共に身体、心身状態を把握し、オムツサービスなど市町村独自のサービスの利用も取り入れるように努めております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	今まで歩んできた生活歴を大切にしながら共に生活していく中で得意な事、出来る事は一緒に行い、出来ない事や苦手な事は共に支え寄り添いながら信頼関係を築けるよう努めております。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご本人様の要望はご家族様にもお伝えし、協力体制を得ながら安心して生活ができるよう支援を行っております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ対策で面会自粛や面会時間が制限されたりしていますが、希望があればお電話で話をしたり、居室には送られた手紙など、差出人のお名前がわかるようにしています。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	行事やレクリエーションを通じ、入居者様同士が一緒に活動しコミュニケーションを図り易い環境作りの工夫をしております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後も、これまでの関係性を大切に、退居後の生活に不安がないよう相談に応じたり可能な限りの対応を行っています。また、お手紙を送らせて頂いたり必要に応じて、ご本人様、ご家族様の経過を支援しております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常的に個々の表情や仕草、会話などからご本人様の意向を汲み取るよう心掛け、安心して過ごせるように努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	フェイスシートを基に個々の趣味や嗜好を把握し、ご本人様との会話からも懐かしい話、思い出などを参考にこれまでの暮らしの把握に努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の記録や申し送りで個々の心身の状態をスタッフ一同が共有し、一人ひとりが安全に安心して暮らせるようにサポートしております。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	コロナ感染対策で会議(カンファレンス)の方法を工夫し情報収集を行ない、電話や書面を利用して家族様の意向や必要関係者との連携、意見を反映し現状に即した介護計画を作成しております。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日、その日の様子やケアの状況を個々に記録し申し送りと共に情報共有しています。また、定期的に月間ケース記録を作成し状態にあったケアができるよう計画書に活かしております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	病院受診、主治医の往診、歯科往診、リハビリなど、ご家族様の協力も頂きながら個々のニーズにあったサービスを導入しております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナ感染対策で町内会の方との交流ができていませんが、終息の際には、以前のように町内の催しや運営推進会議への参加のお誘いを行っています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の主治医の往診、急変時は24時間相談できる体制を取っています。また、他科受診が必要な時は、ご家族様にも協力頂き受診できるよう送迎なども行っております。		
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週に一度の訪問看護の際に入居者様の健康管理、情報共有を行っております。その都度、必要に応じた相談を行い指示を頂いております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は、入居者様の情報を速やかに提供しております。入院期間中も定期的に面会を行い状況の把握に努めております。また、退院時は、病院からの添書を職員間で共有できるように努めております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居契約時に重度化の指針について確認しております。終末期には、こまめに連絡を取り合いご本人様の様子を伝えております。主治医を交えて今後についてご家族様と一緒に検討しており、職員は、看取りに伴う研修を受けております。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時には、医療機関、管理者への連絡を24時間体制で整えております。定期的に緊急時の研修を受け学ぶ機会を得ております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年二回、日中、夜間想定避難訓練を実施しております。あらゆる非常災害を想定し隣接する施設と合同で開催しております。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様の人格を尊重した声掛けや対応を行っております。接遇に関する研修も実施しており都度、振り返り学び初心を忘れない対応を心掛けております。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者様が話し易い雰囲気作りを心掛け、対話、表情にも気を配っております。また、気兼ねなく思いを発言できるよう努めております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	生活歴や馴染みの暮らし方を把握し、お一人お一人、思い思いの時間を過ごして頂ける様に支援しております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご自身で選ばれる方もいらっしゃいますが、選択が難しい方は、職員と一緒に選び季節に合ったおしゃれを楽しませております。また、定期的に訪問理美容を利用し身だしなみを整えております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	コロナウイルスの影響で外食が出来ない為、行事食で季節を取り入れた食事の提供をしております。視覚でも楽しんで頂ける様に食器や容器などにも配慮しており個々に合わせた食事提供で支援しております。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分量は、日々記録し職員間で共有しております。必要に応じて介助や声掛けを行い負担にならない様、摂取して頂ける支援をしております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	訪問歯科による口腔内の治療や指導を受けており、毎食後に口腔ケアの声掛けを行い習慣化できるように支援しております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	トイレでの排泄を基本とし入居者様の状態や能力に応じた方法をカンファレンス時に検討し支援しております。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	運動や水分量を観察し必要に応じて乳製品等を提供し便秘予防に努めております。主治医との連携も図り下剤の調整を行っております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	無理なく皆様が入浴を楽しんで頂ける様に変わり湯での入浴行事を企画したり、その時々で楽しんで頂けリラックス出来る様に支援しております。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の生活習慣に合わせ、昼間の活動を支援し精神面での安定を図り夜間の睡眠を確保し良眠できる様に支援しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入居者様が使用する薬の目的や副作用を職員に周知し、医療連携を基に医師の指示通りに服薬できる様、支援しております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々に合った趣味支援や体操・レクリエーションを取り入れ生活にメリハリが出来る様に努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナウイルス感染予防の為、外出自粛をしておりますが感染が落ち着いている時は、町内の散歩や一時帰宅等の支援を行っております。			
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人様、一人一人の希望に沿って、必要な時にはご家族様にお伝えした上で、職員が代行して支援を行っております。			
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	各フロアに電話を設置しておりご希望があれば取り次ぎを行っております。手紙を希望される方が書けない場合も代筆等に対応しております。			
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	温度変化や湿度に気を配り、快適に過ごされる様配慮し、日中は光を充分に取り込み換気を行っている。浴室は特に脱衣場との温度差が生じない様に配慮し注意している。また、リビングには季節ごとの飾り付けを行ない季節の変化を感じて頂いております。			
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居室で自由に過ごして頂いたり、リビングで皆様と体操や歌を唄ったり楽しい時間作りを行っております。その人に合った居場所を見つけて頂ける様に工夫しております。			
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は思い出の品や写真、贈答品等で本人が気に入られた品で飾られ、ご本人様が安心して落ち着かれる居住空間となっております。			
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりの暮らし方を観察しトイレやお風呂場などには、表札を設置しております。備品の導線に配慮し対応しております。			